

会議録

令和元年12月18日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第7回定例会
開催日時	令和元年10月23日(水) 18時30分から20時45分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：小野修平(会長)、西原みどり(副会長)、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、高井正、小沼純子 職員：高田館長、國府方館長補佐、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野主査
欠席者	委員：伊藤正明、山本一幸、倉持伸江 職員：山本分館長(田無)
議題	1 議題 (1) 公民館主催事業について ア 令和元年度公民館主催事業計画(資料1) イ 令和元年度公民館主催事業報告(資料2) (2) 報告事項 ア 第6回定例会会議録(案)について イ 行政報告 イ)市議会報告 イ)総合教育会議報告 イ)今後社会教育行政のあり方について(提言) イ)事務事業評価について ウ 公民館だより編集室報告 エ 都公連委員部会報告 2 事務連絡及び情報交換 (1) 公運審委員研修日程等について (2) 台風19号の対応について 3 その他
会議資料の名称	【資料】 資料1 令和元年度公民館主催事業計画一覧 資料2 令和元年度公民館主催事業報告一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 2名
会議内容	
<p>1 議題</p> <p>(1) 公民館主催事業について</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画について</p> <p>●事務局より資料1に沿って説明</p> <p>○会長</p> <p>事業計画については年度初めに公運審の承認を得ており、その承認に基づき講師等との調整を進めていく中で計画書が提出されていることから大きな修正は難しい状況であることを認識していただいた上で質問等をお願いしたい。</p> <p>また、今回は事業計画書と事業報告書をセットにした。</p>	

今までは事業計画書に時間をかけすぎる傾向があり、今後は事業計画書の審議時間を事業報告書の方に費やすことにより、今後の事業展開の参考等になればよいものと考えている。

○副会長

計画書については、全体を見通しての質問をしていただき、個別の細部については後刻分館長にご確認いただければと思う。

○A委員

柳沢公民館の陶芸窯の保守点検状況についてはどうなっているのか。

○事業係主査

陶芸窯については耐用年数をかなり過ぎており、部品の供給が難しいことから修理も難しくなっているため、利用サークルは工夫しながら大切に使用している。

○A委員

故障や破損した場合は直ちに直していただきたい。

○副会長

陶芸窯についての予算措置はどうなっているのか。

○事業係主査

予算編成時に陶芸窯の購入費用を要求している。

○A委員

壊れた場合は、修理に伴う部品を何とか探して対応をお願いしたい。

○副会長

講座や利用サークルもあるので、破損等への対応は考えて欲しい。

○B委員

子ども対象「書き初め講座」(柳沢)について、外国にルーツをもつ小学校3年生から6年生を対象としているが、広報の工夫はあるのか。

○館長補佐

ホームページ、チラシ、ポスターで広報する。

○事業係主査

併せて、市内の子ども対象日本語教室関係者や多文化共生センター関係者の協力を得て広報する予定。

○C委員

書き初めの事業について、書き初めなので、年末ではなく1月に実施できないか。

○館長

講師等との日程調整の都合や年末年始の公民館の休館に伴う事情もあるものとする。

○C委員

季節感は大切だということを申し上げたかった。

○D委員

公民館事業は季節感を大切にしたい。日程的には、年始に書き初め事業を行うことも可能と考える。また、西武池袋線北側には公民館がなく、保谷駅前公民館では書き初めはやらないが、事業の地域偏在についてどう考えているのか。

田無公民館の調理室のエアコンについて、調子が悪いと聞いているが対応について伺いたい。

○分館長(保谷駅前)

書き初めも実施を検討したが、今回は算数を取り上げる事業を企画した。書き初めについては、次年度以降実施について検討していく。

○D委員

算数の講座をやめて書き初めの講座をしてほしいということではないので、誤解の無いようご理解いただきたい。

○E委員

芝久保公民館で書き初めの指導を行っているが、季節感はあると感じている。日程について、正月はそれぞれ

れの家庭の都合や指導者の都合もあること、冬休みの宿題としての対応などを考えると年末での実施となることをご理解いただきたい。

○A委員

習字に関しては、本来は学校の先生が教えるべきものであり、学校や家庭の事情により宿題として習字を年末に終わらせることは良いと思うが、書き初めであるのなら正月に行うことが望ましいと思う。

○会長

11月の定例会は、午前中に開催することで小中学校長の委員に出席していただき、冬休みの子ども対象講座について検討するとのことだが、一覧のようなものはいただけるのか。

○館長

先に開催された総合教育会議では、夏休みに実施した子ども対象事業の報告をした。次回11月の定例会に、今後の子ども対象事業の一覧を提示するので改めてご意見を伺いたい。

田無公民館の空調については、冷房は効きにくいと聞いており、暖房についても効き具合等について今後確認する。

○F委員

「映像から見る現代」(田無)について、誰を対象にした講座か。

○A委員

「小中学生の書き初め講座」(田無)について、150分しかない。できるだけ子どもの実技時間が取れるような配慮をお願いしたい。

○会長

田無公民館分館長不在により、田無公民館関連の空調、講座「映像から見る現代」「小中学生の書き初め講座」の3点については次回定例会の回答とする。

○A委員

地域講座「ごぜ唄が聞こえる」(保谷駅前)について、1時間では短いと感じるが、もう少し長くできないか。

○分館長(保谷駅前)

担当と相談の上、検討する。

○C委員

「映像から見る現代」(田無)について、各回の内容について要点をピックアップして示すと受講者にわかりやすいと思う。

○D委員

来月に冬の子どもの対象事業の一覧が提示されるということだが、来年度に向け、社会教育課が実施している事業と相乗効果が得られるような連携した事業計画の提示をお願いしたい。

イ 令和元年度公民館主催事業報告

○A委員

「公民館とSDGs」(保谷駅前)について、SDGsは非常にわかりにくい。目標が多いので項目を絞って実施することが必要であると思う。

○分館長(保谷駅前)

SDGsは17の目標と169のターゲットから構成されており、公民館活動のほとんどが関係していることから、目標をどこに絞るかについては大変難しかった。SDGsの考えを深めていくにはご指摘のとおり、目標などを絞っていく必要があるものと感じている。

○A委員

谷戸公民館の講座でもSDGsに触れているが、今後はより工夫した講座展開が望まれると思う。

○C委員

大きなテーマを、1回で済まそうとしていることに無理があるのではないか。今後も事業を継続して、概論と各論を分けて実施してはどうかと考える。

○F委員

報告書の書き方として、実施日について開催時間を記載している事業と記載していない事業がある。必ず開催時間は入れて欲しい。

○B委員

クラフト講座「作って飾ろう！オリジナルアクセサリー」（保谷駅前）について、作品制作後、作品展示を経て他の利用団体とのつながりやサークル化のきっかけづくりになっていくという公民館の仕掛けが読み取れる点を評価したい。

○D委員

「2020パラリンピック講座」（芝久保）について、来年の本大会に向けての取組みは検討しているのか。クラフト講座「作って飾ろう！オリジナルアクセサリー」（保谷駅前）について、サークル活動として続けていくためのサポートはどのように行われているのか。

「公民館とSDGs」（保谷駅前）について、SDGsに関して市役所のいろいろな部署で講座や企画を行っているが、情報共有をして、いっどこで何をしているのかが分かるようになればいいと思う。

「0歳からのコンサート」（保谷駅前）について、予定よりも多くの参加者に恵まれて、アンケートの評価もとても高い評価を得られてよかったと思う。

○分館長（芝久保）

2020パラリンピック講座について、来年の本大会に向けての検討は今後考えていきたい。

○分館長（保谷駅前）

サークル化への支援については、担当者が熱意をもって対応しており、市報や口コミで参加者が増えるようにしていきたい。

○G委員

サークルを続けていく上では、新しく入った人との技量の違いが課題となっていることもありなかなか難しいといった課題もある。

(2) 報告事項

ア 第6回定例会会議録（案）

●事務局より第6回会議録（案）については、第8回定例会で提示する旨、説明。

イ 行政報告

(i) 市議会報告

○館長

市議会第3回定例会について報告をする。まず、一般質問について報告する。

不登校の生徒向け進路相談会について、保谷駅前公民館で今年度実施したことを答弁した。

決算特別委員会では、ひばりが丘公民館の分室化について、公民館だよりについて、市民企画事業についての質問があった。

○D委員

答弁者と答弁内容について聞きたい。

○館長

一般質問については、教育長と教育部特命担当部長が答弁した。

学校でどのようなPRを行ったかという再質問には、担任等から該当する生徒全員にチラシを手渡しするなどの対応をしていることを教育部特命担当部長が答弁した。

決算特別委員会の質問には、課長職である館長が答弁した。

ひばりが丘公民館の分室化については、ひばりが丘公民館と谷戸公民館の事業や防災面での一体的な取り組みが効果的にできていることなどを答弁した。

公民館だよりについては、全戸配布が重要であることなどを答弁した。

市民企画事業については、学びを地域に還元するといったことも含めて、重要な事業であるため共催で実施

しており、補助事業ではないことなどを答弁した。

(イ) 総合教育会議報告

○館長

10月18日に第2回総合教育会議が行われ、公民館からは夏休み中に実施した事業として、小中学生及びその保護者を対象として実施した事業一覧を資料として説明した。

○会長

総合教育会議とはどのような会議体なのか、改めて総合教育会議についての説明をお願いします。

○館長

法に基づいて行われている会議で、市長部局と教育委員会の関係各課が集まり、子どもに関する事業に関しての情報共有等を行うことや、子どもに関する事業の担当主管課が報告を行い、教育政策についての調整などを行う会議である。

○F委員

総合教育会議は、大津市でのいじめ事件をきっかけとして改正された地方教育行政法に基づいて設置されたもので、市長が召集し、市長と教育委員会とが教育について意見交換を行う場である。

○D委員

第2回総合教育会議で公民館が提出した資料は、既に市のホームページに掲載されているが、次回の公運審でいただけるのか。また、今後も定期的に教育総合教育会議の中で子ども分野の事業についての報告や説明をするのか。

○館長

昨年度の総合教育会議においても同様の報告がされている。実施事業についての資料については、次回の公運審で一覧などをお示ししたいと考えている。

(ウ) 今後の社会教育行政のあり方についての提言について（提言）

○館長

本年6月27日に、社会教育委員の会議から提言が出されたもので、7月23日に行われた教育委員会第7回定例会において、報告事情事項の資料として配布された。

※概要について説明。

○会長

これからの公民館運営を考える中でも大事な提言になっていくと思うので、委員の皆さんは1回読んでおくことを宿題としたい。

(4) 事務事業評価について

○館長

市報の一部を抜粋した資料を用意した。10月15日号の市報で、事務事業評価中間報告としてパブリックコメントに寄せられた意見の概要と、市の検討結果について掲載されている。

また、ホームページでは個別の件数も公表しており、視聴覚事業3件、広報活動活動事業9件の意見が意見をいただいた。

今後、行革本部がまとめた報告が11月中になされるとのこと。

○H委員

インターネットでの資料の方が詳しいので、配布資料はそちらの方が良かった。

○D委員

公運審の配布資料等は、事前送付は紙ではなくメールでよい。SNSをもう少し活用しても良いと思う。

質問だが、事務事業評価を受け、公民館としてどう動いていくのか伺う。

○会長

事務事業評価後の公民館の対応については、難しい課題等があるものと考えているので、別途時間を取り委

員間で協議したい。

○副会長

日程については改めて調整する。

ウ 公民館だより編集室報告

●担当委員より報告

エ 都公連委員部会報告

●担当委員より報告

2 事務連絡及び情報交換

(1) 公運審委員研修日程等について

●事務局より、下記により公運審委員研修を実施することを連絡。

【開催日】 令和2年1月24日（金）15時半～17時半

【講師】 高井正委員

(2) 台風19号の対応について

●事務局より、台風19号の対応について報告

* 史上最大と言われた台風19号の対応については、市の災害対策本部の決定により、10月12日の土曜日から13日日曜日午前中にかけて市内全施設を閉鎖し、13日午前中に公民館全館で被害状況を確認した上で正午に開館した。各館の被害状況としては、雨漏り等の被害はあったものの軽微なものであった。

3 その他

●事務局より11月定例会の開催日時について連絡

【日時】 令和元年11月27日（水） 午前9時30分から

【場所】 柳沢公民館第一会議室